

農業者と企業をマッチング 副業・農業体験等で協定締結

等に農業を取り入れる企業と農業者のマッチングを行うなど、半農・半Xをはじめとしたライ

大阪府は、副業等に農業を取り入れる企業と農業者をマッチングする「アグリパートナー連携協定」の取り組みを今年度から始めている。近年、農業に携わりたいという企業等が増加。こうしたニーズを捉え、府では、新規就農支援や農福連携に加えて、マルチワーク等で農業に取り組む者や副業業者のマッチングを行うなど、

フスタイルの変化に応じた農業への参画の支援を進めている。6月29日には、連携協定の第1弾として、約4鉢でナスやキュウリを栽培する富田林市のナカスジファームと、大阪府内に本社を置くダイドードリンコ株式会社との間で協定が締結され、その第1号調印式が大阪府咲州庁舎で行われた。ダイドードリンコの社員の副業としての農業参画を目的とし、月35時間を上限に、栽培や出荷事務作業等に従事する。調印式で、ナカスジファームの中筋秀樹代表は、「来てもらう社員さんには業務を通じて農業のことを知ってもらい、一方で自分たちの経営改善に繋がるノウハウなども得られるか様々

な可能性を模索したい」と抱負を語った。また、ダイドードリンコの中島孝徳社長は、「昨年



南部府環農部長を囲む中筋代表 (左) と中島社長 (右)

度より社内では副業を勧めている。今回の取り組みが従業員の成長に繋がるとともに、大阪農業の持続的な成長に少しでも貢献できれば」と話した。7月13日には、2鉢超でブドウ栽培とワイン醸造を行う柏原

申し合わせ決議を再度周知

農業者年金担当者会議

農業会議は6月29日、大阪市内・大江ビルで、大阪府農業協同組合中央会と共催で、農業者年金業務担当者会議を開いた。農委事務局職員、府内各JA職員ら計34人が出席した。会議では、制度の概要について農業者年金基金が作成したDVD「農業者年金—のうねん—

市のカタシモワインフード株式会社、新田ゼラチン株式会社、日本たばこ産業株式会社と「農業体験・ボランティア」に係る取り組みとして、連携協定を締結。同日に調印式が開かれた。(沼田)

大阪市が公式SNSを開設

幅広い層に都市農業をPR

大阪市は6月28日、新たに大阪府農業に関する公式SNSアカウントを開設した。

開設したインスタグラム
のアカウント

大阪府では、平成30年に都市農業振興基本計画を策定。令和元年度には、都市農業の多面的な機能の発揮・市民への理解醸成を目的に市の独自事業「都市

農業振興事業」を創設し、取り組んでいる。今回同事業の一環で開設されたSNSは、ツイッター、フェイスブック、インスタグラム、YouTubeの4種。市内の農

家の姿や農業にまつわるイベントの情報などを随時発信している。市担当者は「引き続き市内農業の振興に努めていきたい」と話す。

Twitter



@osaka_cityfarm

Instagram



@osaka_cityfarm

Facebook



@osakacityfarm2021

呼びかけた。その他、農業者年金記録管理システムの活用について、農業者年金基金から講師を招き、記録管理システムの概要と業務推進における活用方法等について説明が行われた。最後に、事業実施上の留意点として、来年1月から順次改正される農業者年金制度の変更点等について再度周知した。

(中島)